

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 20 日

事務事業名		義務教育学校施設維持管理事業				事業区分		担当	
						新規/継続	新規	事務事業No.	020103000143
						単独/補助	単独	所属課	090101
政策体系	総合計画の施策名	0201 学校教育の充実						課長名	学校教育課
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	営繕グループ
	施策名	01 学校教育の充実						担当者名	
	手段名	03 ③教育環境の整備							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	04	01	02	00	単年度繰返し (平成30年度~)		
法令根拠						桜川市立学校設置条例、桜川市立学校管理規則			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>小中学校適正配置計画の中で、桃山中と真壁小・紫尾小を統合して、義務教育学校「桃山学園」が平成30年度に開校したことを受けて、義務教育学校の施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払いを行う事業。</p> <p>【事業費の内訳】</p> <p>学校施設維持管理のため、修繕費、保守点検業務委託費、メンテナンス業務委託費、設計見積費、工事請負費等、借地賃借料。 ※学校用務員報酬等を含む</p>	<p>学校施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注</p> <p>借地面積 桃山学園 20,981.3㎡</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
学校施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注	施設維持管理費	千円	64,949.00	56,780.00	51,748.00	51,748.00	51,748.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
義務教育学校	義務教育学校数	校	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
教育環境が整備され充実された学校になる	教育環境が整備し充実された学校数	校	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量		
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	2,314	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	62,635	57,256	51,748	0
		事業費計(A)	千円	64,949	57,256	51,748	0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
01 報酬	2,865		01 報酬	3,059	
03 職員手当等	248		03 職員手当等	480	
08 旅費	135		05 災害補償費	9	
10 需用費	11,609		08 旅費	171	
11 役務費	958		10 需用費	17,251	
12 委託料	6,004		11 役務費	1,012	
13 使用料及び賃借料	22,742		12 委託料	7,660	
14 工事請負費	12,196		13 使用料及び賃借料	20,034	
17 備品購入費	499		14 工事請負費	1,000	
	合計	57,256	17 備品購入費	1,072	
			合計	51,748	

事務事業名	義務教育学校施設維持管理事業	事務事業No.	20103000143	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 児童生徒数の減少から市内小中学校適正規模検討が始まり、2011年の東日本大震災により、真壁小学校の耐震状況が非常に劣悪になったため、検討の結果、真壁小・紫尾小・桃山中を小中一貫教育校として統合し、義務教育学校「桃山学園」が、平成30年度に開校した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 30年度からの事業であるので現在は特になし。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 学校施設を改善していくことは、学校教育の基本施策である安心安全な教育環境づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市立施設であるため、市が行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 旧中学校の施設に増設したが、旧部分の老朽化は従来通りであるが、増設するとき改善しているので現在は向上余地はあまりない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 教育施設環境が悪化する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費については、統合により平成30年度からのものであるため、現時点で削減は難しい。人件費については、施設に対する知識と経験が必要とされるため委託等は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市立学校施設であることから、受益者に偏りはなく、負担金もない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	統合により開校した、義務教育学校「桃山学園」であるが、前期課程側は校舎等の施設は新築である。しかし、主に後期課程が利用する旧桃山中の校舎等は既存施設のため、すぐにも老朽化対策が必要となって来ることと思われる。 令和2年度は旧桃山中の屋内体育館の照明をLED化する等教育環境の改善に務めた。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	X			X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	X																	
		X	X	X																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果	②																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出		確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認	